第4回 「仕事とは何か」

自己実現　天職　やりたいこと　社会貢献　人の役に立つ

「仕事」とは 「　　」を生み出す行為

「自分で評価」
ではなく
「相手（企業）が評価！

投入量と生産（産出）量
の効率

生産性を伴
わなければ
ただの趣味

（「博士キャリアデザインⅠ」、「理系のためのキャリアデザイン 戦略的就活術」p.62）

仕事は；　**作る**：開発する、生産する、発見する、情報処理する・・・

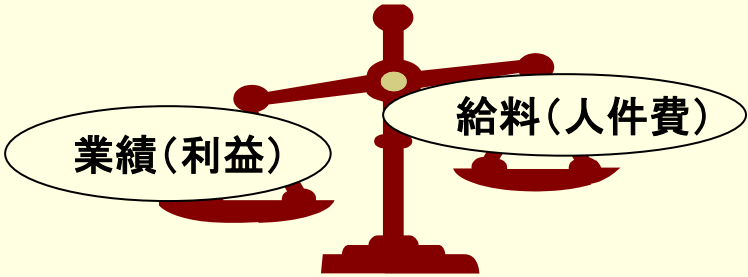
売る：営業

支援する：「作る」支援＝シミュレーション、品質管理、
「売る」支援＝マーケティング、ロジスティクス、コンサルティング

成果の再現＝コンピテンシー

職務（役割）によって（優秀な）成果をもたらすことが出来る行動特性・様式。

さらにそれを継続して実行できるかどうか。



ESや面接で（「相手」（企業）は何を見ているか）

例：学生時代に打ち込んだことを述べよ

新卒採用（2012年4月入社対象）に関するアンケート調査結果（経団連）

（採用）選考にあたって特に重視した点は何か

1位　コミュニケーション能力（82%）
2位　主体性（60%）
・・・
出身校/ゼミ/研究室（3.8%）
サークル/ボランティア活動（2.9%）

この差はなぜ？

企業は何のために存在するのか＝**企業の目的は何か**

困った時は

リデル=ハート；
常に目的を銘記せよ。

生産性を想像する

そのままでは生産性に直結しないものを、
どのように生産と結びつけるか想像する。

問い：学生時代に打ち込んだことを述べよ

生物の物質生産の根本であり、タンパク質生産の規則である遺伝暗号を、利用しやすいよう人為的な拡張により、より高機能なタンパク質を新たに作り出す研究をしています。
遺伝暗号を規定しているのはアミノアシル合成酵素であり、それを改変することで様々な非天然の構成要素を特定の塩基配列に対応付けられます。これを工学的に改変することで、タンパク質だけでなく、ポリペプチドの生産にも適用でき、高機能タンパク質製剤の高機能化が図れます。実検では自然状態の細胞を解析するだけでなく、細胞ルールを人為的に操作するという、積極的な細胞システム解析を行っています。

高機能なタンパク質

遺伝暗号を改変

ポリペプチドの生産にも適用

細胞ルールを人為的に操作

直接的応用

間接的応用

目指す成果の
生産性は？

同じ業界？
異業界は？

共有できる
スキルは？

専門性との一致

・企業に入ったらどうなるか
・学部から修士（博士）で専門が変わった場合

「専門性」とは何か

専門性へのこだわりとあきらめの両立

違っていても生かす道

薬学の例

- 創薬
- 薬理
- 生産
- 品質保証
- CRO/SMO
- 食品、化学、医療機器・・・
- 病院等の薬局調剤
- ドラッグストア
- 総合スーパー/ディスカウントストア/ホームセンター

継続して生産性を生み出せること

来週の博士キャリアデザインⅡ
7/9（水）同じく13：20～　すずかけJ233（大岡山W831と交互中継）